

\ UECで、はじめよう! /

留学・国際交流 GUIDEBOOK

留学で得た経験を
仕事でも活かしたい



自分がやりたい研究を
海外でもっと極めよう



まずは語学留学から
今後は次のステップも



海外でしか得られない
学びは想像以上にある



留学で視野が広がって
自分の将来を形作れた



特別対談

Nagma
Mohamed Mallick
在日インド大使
×
村松学長

1 my experience

大学生らしい挑戦として気軽に海外へ

情報数理工学2年 中村楓さん

研究テーマを深掘りして社会をもっと便利にしたい

海外には以前から興味がありましたが、高校時代は“部活に打ち込みたい”という思いから留学よりも部活を優先しました。そこから、大学合格を機に“大学生だからこそできる挑戦”の1つとして「語学留学」を決意。行く前はポジティブに“ちょっと長めの海外旅行に行く”みたいな感覚でした。

しかし最初の頃はやはり、現地での周囲の会話などを上手く聞き取れない状況で、自分の英語力を痛感。それでも、最終的には何か質問されてスムーズに返答できるまでに上達できたこと

は、大きな実りとなりました。

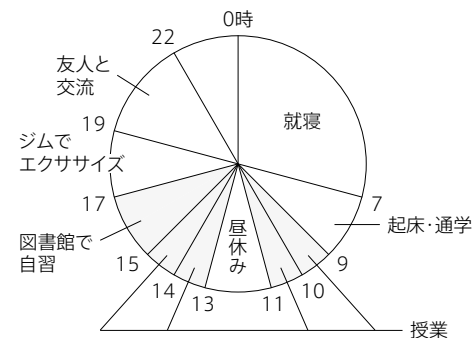
また、現地での授業は午前中のみで午後はフリータイムだったのですが、そこで役立ったのは現地で開催されるイベントなどを検索できるスマホアプリ。私は地元のお散歩会やお茶会などに参加したのですが、そこでの異文化交流はとて有意義な体験でした。あと、ホストマザーが元々本職のシェフだったそうで、美味しい食事を毎日堪能できたのは幸せでした。

今はAIのアルゴリズム開発などに興味があるので、次は関連研究を深掘りできるような留学をしたいですね。そこから、将来は社会をもっと便利にできるモノを生み出したいです。

Language Study Abroad Program
語学留学

留学先 ダブリンシティ大学[アイルランド]
時期 学部1年 期間 8月中旬~9月中旬

ある一日の留学中のスケジュール



長期休みには友人とラスベガスに旅行

「両親の優しさも留学の決断を後押ししました」(工藤さん)



「英語は(何を)話すかが大切」(中村さん)



ダブリンにある聖パトリック大聖堂



ホストマザーと一緒に作ったレーズン入りのスコーン

将来は災害問題に挑むロボティクス研究者に

海外を意識し始めたのは、中学の時に努力が実って参加できた「ロボコンの世界大会」の時。そこで同世代の参加者と上手く交流できなかったことに、悔しさを覚えたからでした。その経験から「英語力を伸ばして、もっと世界で見聞を広めたい」と思い、その情熱を電通大で実現させました。

留学準備として、自分は電通大の「国際交流サークル」(ICES)に1年生から参加。ここで意識的に留学生と交流し、英語でのコミュニケーション力を養いました。また、電通大の英語授業は基

本的に“英語のみ”で行われるため、それもオクラホマ大学で受講する際のいい予行練習となりました。

ただ、現地はやはり独特で、慣れるまでは素の自分を上手く出せず会話も楽しめませんでした。でも、最後は「海外での勉強も生活も不安なし」と言えるまでに成長。この手応えから次は研究留学への挑戦を思い立ち、その後にインターラボでの留学も経験しました。

卒業後はフランスのグランゼコール(修士課程相当)に入学し、災害時におけるSwarmドローン技術を研究する予定。将来的には、日本と海外をつなぐロボティクス研究者として、日本の災害問題等に携わりたいですね。

Exchange Study Program
交換留学

留学先 オクラホマ大学[アメリカ]
時期 学部4年 期間 9月~6月

海外生活も研究もこなせる語学力を手に

先端ロボティクス4年 工藤創生さん

ー類 コンピュータサイエンスプログラム4年 鈴木愛さん

半年かけて自身の研究テーマを極める

強みを活かしてみんなの幸せを増やしたい

大学2年の時、自分の将来を思い描けず、精神的に落ち込んで学校に行けなくなった時期がありました。これが影響して留年してしまい、親には本当に申し訳なかったと思っています。ただ、この留年で得られた半年ほどの“空き時間”を、自分は大きなチャンスと捉えて「自分のやりたいことをやってみよう!」と決意。その選択肢の1つが「国際インターンシップ」でした。

また留学先選びにおいて、シドニー大学は当初候補になかったんです。た

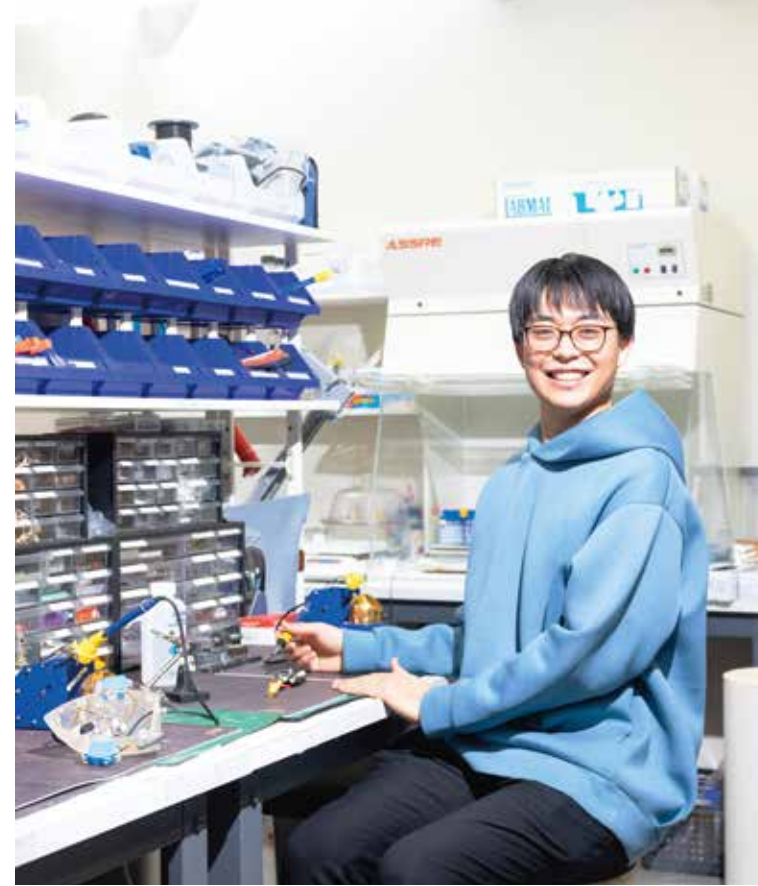
だ、私はどうしてもシドニー大学に行きたかったので、その想いを古川浩規先生に相談。先方に連絡してもらい、受け入れの許可をいただきました。

留学先では「何ができるのか」や「何がやりたいのか」を熟考し、「脳波に関する研究」に取り組むことを決めました。そのなかで、自分の気持ちを強く後押ししてくれたのは「学びに対する“好奇心”や“意欲”」。そのおかげで、英語力とともに「自分を信じる力」や「自分の心のマネジメント力」みたいなものも鍛えることができました。

卒業後は、世界中にネットワークを持つ企業に就職する予定です。今回の留学で培った自分の強みを活かして、たくさんの人を幸せにできるような仕事に携わっていきたいですね。



留学中はハロウィンやクリスマスのイベントを満喫したほか、学校の仲間とフロースンヨーグルトの有名店や近くのビーチなどにも来訪。今回の経験を胸に「ワクワクを忘れない大人になりたい」(鈴木さん)



「留学だから得られるものは意外と多い」(今野さん)



虹がかかったジュネーブの大噴水。高さは何と140m



スイスの伝統的なジャガイモ料理「レシュティ」

Global Leader Training Program
GLTP UECグローバルリーダー育成プログラム

留学先 スイス連邦工科大学ローザンヌ校[スイス]
時期 学部4年 期間 10月~3月

モノづくり現場の課題を自動化技術で解決したい

GLTPの存在を知ったのは、学内の広報用チラシを偶然見かけた2年生の時。「何かを始めたい!」という漠然とした感情が応募のきっかけでした。また、ローザンヌ校は欧州屈指の理工系大学なので、実際に行くとなると「いまの自分で通用するのか…」といった不安は当然ありました。でも、最終的に自分の好奇心や昂る感情がわずかに勝って、最後はもう「当たって砕けろ」の精神で挑戦を決めた感じでしたね。

なお、GLTPは自由度が高く、具体的な目標や取り組みなどは主体的に決めて進める点が特徴です。また、各種申

請なども基本的に自分で提出しますが、新竹純先生に手厚くサポートいただけたのは、とても有難いものでした。

さらに、留学先の選定においても新竹先生の存在が欠かせませんでした。そもそも、新竹研究室は研究内容に惹かれて選んだのですが、先生自身が以前にローザンヌ校へ留学していたことが、自分も同校を選ぶ決め手に。この“縁”を通じてレベルの高い研究環境を体験できたことは、本当に幸運でした。

将来は、職人の技をロボットで再現し、高品質な製品を効率よく生産できる自動化技術の開発に携わりたいと考えています。人手不足や技術継承など、モノづくり現場の課題を解決するエンジニアになることが目標です。

ハイレベルな留学体験を将来に活かす

機械知能システム専攻(新竹研究室) 修士1年 今野雄斗さん

International Internship
国際インターンシップ

留学先 シドニー大学[オーストラリア]
時期 学部4年 期間 9月~2月

自主性を発揮して海外での より高度な学びに挑戦

International Research Exchange

海外インターラボ

留学先 フランス国立科学研究センター・
環境物理化学宇宙研究所/
オルレアン大学[フランス]

時期 修士2年 **期間** 10月～11月

留学で培った前向きな姿勢を
仕事でも活かす

渡辺 海外インターラボに関しては、研究室選びで初めて知ったんです。そもそも、私は宇宙が好きで芳原研究室に興味を持ったのですが、研究室のことを調べると、海外インターラボなどのグローバルな取り組みにも積極的だと知りました。そこにも魅力を感じて、芳原研究室を選んだわけです。

芳原 そういえば、電通大では宇宙通信工学の実習として、電波観測設備がある長野県の菅平高原で実習活動を毎年実施。その実習の講師の一人を私が務めているのですが、そこに参加していた当時3年生の渡辺さんが猛烈にアピールしてきたのをいま思い出しました(笑)。

渡辺 懐かしいですね(笑)。そんな始まりから留学へのチャンスを得たのですが、フランス国立科学研究センター・環境物理化学宇宙研究所は芳原先生が以前働いていたので、研究室からはこれまでに何人もの学生が同研究所へ留学していました。そのおかげで、先輩方から留学時の体験談などを事前に聞いたのはとても助かりました。「失敗もあったけれど、意外と大丈夫だったよ」

みたいな話も、何気に心強かったですね。

芳原 そうだったんですね。ただ、留学では現地に到着した瞬間から、外国語のみですべてに対応しなければなりません。当然、大変なこともあったでしょう。

渡辺 ですね。私の場合はちょうどコロナ禍だったので、その影響が一番心配でした。留学できない可能性もあったので、それを思えば少しぐらいの大変さは何するものぞ。常に「何でもやってみよう!」と心掛けていました。例えば、研究所での学びはレベルが高く不安もありましたが、Celestin教授や研究所の仲間との英語でのコミュニケーションにも注力。その成果もあって、最後は「楽しかった」と思える経験になりました。

芳原 私のサポートは準備段階までがメインで、現地に行ったらあとは“本人の自主性”に任せるのみ。その意味で、渡辺さんは誠実に熱意を持って頑張ったと感じます。今回の経験で、渡辺さんの国際的な視野は間違いなく広がったことでしょう。

渡辺 確かに。少なくとも、自分の中で「海外に出ていく」ことへのハードルはグッと下がりました。ですから、いまの職場でもそういった機会があれば、前向きに挑戦していきたいですね。

電気通信大学
大学院情報理工学研究科
情報理工学域情報
II類(融合系)／ネットワーク工学専攻

芳原 容英 教授

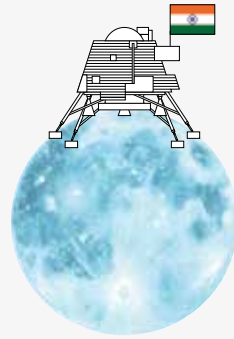
情報・ネットワーク工学専攻
電子情報学(芳原研究室)修了
現在：読売新聞東京本社

渡辺 真子さん

成長の

インドでスパイスを探そう

人口は世界第1位、経済規模も日本を上回るなど、著しい成長を遂げているインド。そのインドと電通大の取り組みや今後のビジョンとともに、インド留学の魅力なども紹介します。



2026年2月、村松正和学長は学長就任前にインド大使館へ赴き、Nagma Mohamed Mallick 在日インド大使を表敬訪問。今後の教育研究分野における学術や人的交流の促進、インドのトップ研究機関と本学との連携強化に向けた

展望について意見交換を行いました。

意見交換の主なポイントは3つありました。1つ目は「学生交流促進に関する共通認識」で、まずは「日本からインド、インドから日本への双方向の学生交流を促進・

支援する」という共通目的を確認。また、インド大使館からは日本および電気通信大学での学修機会に関する情報発信を支援する意向が示されました。

日本からは、文部科学省「大学の世界展開力事業」で採択された

III類(理工系) / 基盤理工学専攻
Nayak Kali Prasanna 准教授



インド人から見たインド留学の魅力

Nayak氏(写真中央)は、急速に発展するインドの国力や技術力を踏まえ、インド留学が「将来の友人やパートナーシップづくりの良い機会になる」と勧めます。またインド人留学生のBhavya Puthanveetilさん(写真右)は、設備投資が進む背景から「留学先で最新機材を利用できる可能性も」とアピール。アチャリア淳一さん(写真左)も「インド人の意欲的な姿勢が刺激になる」と語ります。

III類(理工系) / 基盤理工学専攻
宮本 洋子 教授



インド“だからこそ”の体験を

宮本教授は近年、多くのグローバル企業でインド人CEOなどが誕生している点に触れ、そういった人材を目標にする野心的なインド人学生との学びには「触発される何かがある」と説きます。また、米国や欧州にはない「インド社会の若さ」にも着目。急速な発展がもたらす活気には良い面も悪い面もありますが、その両方を同時体験できる点は「インド“だからこそ”でしょう」と付け加えます。

本学のプログラム「Society 5.0 実現に向けた日印スマート技術人材育成プラットフォーム」を通じた、先端ICTおよびものづくり分野におけるインドへの学生派遣を主導していく方針を共有。さらに将来の研究者・技術者育成の観点から、本学として「学生のインド留学を積極的に奨励していく」という考えを提示し、教育・研究分野での国際連携および学生交流を促進していくことが確認されました。

2つ目は「本学の魅力と学生にとっての意義」です。本学学生がインドで学ぶことは「ICT分野における社会実装や研究技術開発の現場に触れる貴重な機会となる」ことを確認。さらに、急速に発展

するインドのデジタルインフラや多様な文化の中で学ぶ経験が、Society5.0の実現に向けたネットワーク基盤技術の開発(6G)や国際的な視野の形成につながるとの認識も共有されました。

3つ目は「国際交流イベントを

通じた関係深化」です。2026年度は、本学で実施する国際交流イベント「国際ウィーク」(5月7日～13日予定)において「インド・デー」を企画。これにより「学生同士および関係機関との交流を一層深めていきたい」との考えを示しました。



村松学長(左)と Nagma Mohamed Mallick 在日インド大使(右)

村松 正和 学長



若い頃にアメリカで一年半暮らす機会を得ました。

空港に着いた日はホテルに泊まりましたが、二日目には中古の家具店に行き、ベッドのマットレスだけを買ひ、がらんとしたアパートにそれを置いて眠りました。その光景はいまでも昨日のことに思い出されます。

当初はアパート管理人の話さえ聞き取れず苦労しましたが、次第に慣れて仲間ができ、交流を重ねたその経験は、今も私の人生を支えています。

留学は皆さんの人生と学びを大きく変える力を持っています。学生の皆さんには、ぜひ勇気をもって海外に挑戦してほしいと、学長として強く願っています。

知らない国で生活することに不安を感じるのは当然です。しかし、その不安に向き合い、一步を踏み出した経験は、必ず皆さんの人生を支える礎になります。

このガイドブックで紹介するように、電気通信大学は留学を後押しする多様な制度や奨学金を用意しており、留学を志す皆さんをきめ細やかに支援しています。これらを存分に活用し、安心して世界に踏み出してください。

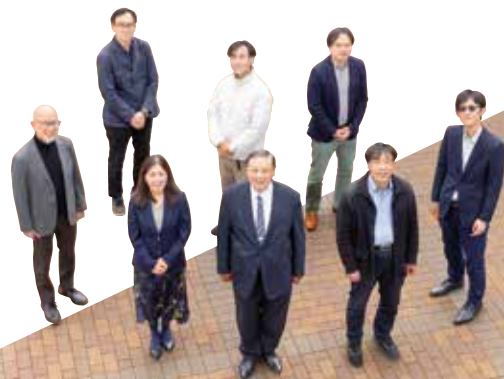
本学は、皆さんの挑戦を全力で支え続けます。

このガイドブックは、理工系の大学で学ぶ学生が、海外で学ぶことが将来の研究や社会とどのようにつながるのかを伝えるために作られました。理工系の学びは、「なぜそうなるのか」「どうすれば解決できるのか」を考えることです。海外での学びは、その考え方を異なる環境や文化の中で試し、新しい視点を得る貴重な機会となります。

本誌では、目的を重視し、スキルアップ、研究活動、社会貢献など、異なる視点から海外経験を実現した学生たちのリアルな声をお届けします。実際に一步を踏み出した学生たちは、口をそろえて「得られたものは、想像していた以上だった」と語ります。行かなければ得られなかった経験や気づき、出会いが、そこには確かにあります。

迷いや不安があるときは、国際教育WGが一人ひとりに寄り添い、安心して第一步を踏み出せるようサポートします。あなたが思い描く海外体験や学びの目標を実現するために、私たちは全力で支援します。

国際教育ワーキンググループ



電気通信大学 留学制度

- 1 英語教育 P.12
- 2 第二外国語教育 P.12
- 3 国際科目 P.13
- 4 GLTP P.13
- 5 大学間交流協定校 P.14
- 6 UECSAP P.15
- 7 語学留学 P.15
- 8 交換留学 P.16
- 9 国際インターンシップ P.16
- 10 研究室交流 P.17
- 11 国際共同学位プログラム(大学院) P.17
- 12 JICA海外協力隊大学連携派遣プログラム P.18
- 13 奨学金・渡航助成 P.18
- 14 各プログラムの連絡先一覧 P.19

留学・国際教育早見表

留学に興味がある	キャンパス内の国際環境について知りたい	1	2	3	4	5	6						
	学域生・大学院生用プログラムや留学制度を知りたい	4	6	7	8	9	10	11	12				
	奨学金・渡航助成について知りたい	13											
	春・夏休みを利用して短期留学したい	7	9	10	11								
	1年または1学期間の長期留学をしたい	4	8										
国際教育に興味がある	語学力をあげたい	1	2	3	6								
	英語で授業を受けたい	1	3										
	ランゲージパートナー制度に参加したい	14											
	留学生の生活をサポートしたい	14											
	留学生をサポートしながら国際学生宿舎で生活したい	14											
	国際交流サークル(ICES)に入りたい	14											

留学で広がる理工系の夢

未来への投資
これから始める？

1 英語教育



本学における英語教育の目標は、国際社会で活動する技術者や、科学者、研究者等が必要とする総合的なコミュニケーション能力の養成です。本学は英語教育を重視しており、学域から大学院まで将来役に立つであろう英語の必修科目が設けられています。また、「科学技術英語副専攻プログラム」を設置しています。

学域1年次では、学術ライティング、学術プレゼンテーション、ディスカッションなど、基盤となるアカデミックスキルを身につけます。学域2年次では理工系学術英語の書き方、読み方、研究発表やポスター発表へと応用していきます。学域3年次では、研究者やエンジニアとして理工系分野の研究に必要な高度なアカデミック英語を実践的に活用し、専門領域で積極的に英語を用いる力を育成します。大学院技術英語では、アブストラクト作成や研究発表に加え、グローバルな研究環境で活かせる実践的な研究英語のスキルとノウハウを養います。英語の授業は全て英語で行われ、学生が主体的に学ぶスタイルになっています。詳しくは右上のQRコードからご確認ください。



前期	後期	
AWE I (必1)	AWE II (必1)	一年次(昼・夜)
ASE I (必1)	ASE II (必1)	
AE2Y I (必1)	AE2Y II (必1)	二年次(昼・夜)
英語演習(選必2)	英語演習(選必2)	
上級科目(選必2)	上級科目(選必2)	三、四年次(昼)
学域技術英語前期(必2)	学域技術英語後期(必2)	三年次(昼)
APE(必2)	AWE(必2)	三年次(夜)
大学院技術英語(必2)		大学院一年次

必:必修 選必:選択必修 昼:昼間コース 夜:夜間主コース
1:1単位 2:2単位 上級科目(隔年開講):年4科目、8科目/2年



プレゼンテーションの様子

ライティングの様子

2 第二外国語教育

本学では第二外国語として、独語・仏語・露語・中国語・韓国朝鮮語のいずれかを必修として学びます(下記は独語選択の場合の学習課程例)。また、新しい言語に積極的に挑戦してもらえるように、本学では第二外国語科目をベースにした副専攻プログラム「国際教養」も設置しています(詳細は下記QRの第二外国語教室HPを参照)。

1年次	独語第一・独語第二	必修
1年次	選択独語第一・選択独語第二	選択
2年次	独語演習・独語運用演習	選択
3年次	外国語とその運用A【独語】・外国語とその運用B【独語】	選択
4年次	自主ゼミ	※

※希望者のみ。1年次から参加する学生もいます

世界には、皆さんの知らなかったことがまだまだ沢山あります。せっかくの人生、いろいろ体験してみませんか。例年5月に開催されている「卒業生による異文化理解講演」では先輩方の外国体験談を聴くことができますので、ぜひそちらも参考にしてください。



X



HP

3 国際科目



WEB



前期



後期

世界中から集まる留学生と共に、英語で専門的な議論を交わす。そんな刺激的な経験は、これからのグローバル社会を生きるあなたにとって大きな武器になるはずです。「国際科目」では、生きた英語を実践的に学べるだけでなく、その成果を「科学技術英語副専攻」の単位という形ある実績として積み上げることができます。

もちろん、卒業所要単位にも含まれるため、効率よく成長したい学生にも最適です。特に留学を考えている皆さんにとっては、現地の講義スタイルを日本で体感し、異文化の壁を越える自信を掴むための最高のステップアップとなるでしょう。一足先に、キャンパス内でこの「留学体験」をスタートさせてみませんか？

情報学	Topics in Informatics I (Evolutionary Computation) Topics in Informatics II (Sustainable Supply Chain Management)	担当教員 加藤(寛) 山田(哲)	科目数 2	先行履修	1年次		2年次		3年次		4年次	
					1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期	7学期	8学期
情報・ネットワーク工学	Adv. Communication Engineering and Informatics I (Information and Communication Networks)	Kitsuwan	3	○								
	Adv. Communication Eng. and Informatics IV (Computer Algorithms)	小林(聡)										
	VLSI Low Power Circuit Design	Hoang		○								
機械知能システム学	Topics in Mechanical and Intelligent Systems Eng. I (Adv. Robotics and Mechatronics Engineering)	小泉(憲)他	3	○								
	Topics in Mechanical and Intelligent Systems Eng. II (The Human Brain as Intelligent Machines)	宮脇										
	Introduction to computational methods in Science and Engineering	Matuttis										
基礎理工学	Advanced Engineering Science I (Polymer Photonics)	吉川(伸)	4									
	Advanced Engineering Science II (Photonics and Opto-Electronics)	上野										
	Advanced Engineering Science III (Exercises in Advanced Computational Science)	森下 他										
	Experimental Electronics Laboratory	岸本・Nayak										

[総合文化科目]		言語文化演習科目(1~2年次履修)		上級科目(3~4年次履修)			
国際教育センター	UEC Academic Skills I (Computer Literacy)						
	UEC Academic Skills II (Information Literacy and Research)						
	UEC Academic Skills III (Publishing Literacy and Research)						
共通教育(英語)	履修可能な科目は、英語科目(上級科目)を参照してください						
機械知能システム学	Introduction to computational methods in Science and Engineering						

4 GLTP

本学では、産業界や国際社会でリーダーとして未来を切り拓く人材を育成することを目的に、学士・修士一貫のGLTP(UECグローバルリーダー育成プログラム)を実施しています。主体的な行動・活動を通して高い専門性とグローバルリーダーの素養を身につける機会を提供します。

対象	学域2年生(昼間コース)
出願時期	11月中旬

GLTPカリキュラム	学士・修士一貫教育	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	修士1年	修士2年
		選抜	学士・修士一貫教育プログラム					
		ラボワーク	卒業研究	卒業研究	学外研修	セミナー	GLTP	カンファレンス

- GLTPラボワーク:研究室実習:3研究室でそれぞれ1ヶ月程、週1回の実習
- 学外研修:国内外長期インターンシップ、研究留学等
- GLTPセミナー:学生の自主的なゼミ形式の研究紹介・勉強会
- GLTPカンファレンス:学内外の講師を招き、講演や勉強会を企画・運営



WEB

- GLTPの特典
- GLTPに選ばれることで優先的に大学院推薦(類長推薦)を受けることができる
 - 学域3年後学期から早期の優先的研究室配属
 - 学域4年次に大学院授業科目を先行履修することができる(上限15単位)
 - 学域4年後学期(ギャップターム)もしくは修士の期間に学外研修を実施する休学をすることなく、海外留学や長期インターンシップ等を行うことが可能
 - 渡航滞在費の支援制度あり
 - 修了証を授与

5 大学間交流協定校

本学では、海外の大学との国際交流を積極的に推進するため、世界20か国以上の大学と国際交流協定を締結しています。



国際交流協定締結機関等一覧



注目協定校

ポズナン工科大学



Poznan University of Technology (PUT)

ポーランド屈指の歴史を誇る国立大学です。本学とは2025年に協定を締結したばかりですが、共同プロジェクトの推進や、本学でのポーランドデー開催など、多角的な交流を展開しています。現在は欧州における本学の重要なパートナー校の一つとなっています。



6 UECSAP

UEC Self Access Park / 実践的コミュニケーション教育推進室



Games & Movies セミナーの様子

UEC Self Access Park では授業外の英語学習をサポートし、留学生とも気軽に触れ合えるグローバルな環境を提供しています。

イングリッシュ・コンシェルジュ

授業外の英語学習や国際学会発表、留学に必要な英語による面接などに関する相談を受け付けています。

特別講師による英語試験対策

TOEIC® および IELTS などの英語試験対策セミナー・ワークショップを各回2時間完結型で実施します。スケジュールは Google Classroom にてお知らせします。

留学生による出張講義

留学生が依頼先の中学校・高等学校にて母国の文化を紹介し、自身の研究について丁寧に発表します。出張講義をご希望の教育機関はメールでご連絡ください。



WEB



Google Classroom
学内のみ
Classroom Code : wxue3li

各種セミナー (学期中)

学生による各種セミナーでは学生同士で実践的にコミュニケーションできる環境を提供しています。リラックスした空間でのスピーキングやリスニングの練習など、楽しく気軽に英語やその他の言語を使う環境を求めている学生さんにお勧めします。電通大の留学生との交流もできます。セミナーを通して異文化理解にも繋がるので、時間がある時に気軽にご参加ください。予約の必要はありません。いつでも参加できます。

TED Talks	火曜日 16:30-18:00	東9-101
-----------	-----------------	--------

時事問題やグローバルなテーマの TED Talks 動画を見て、それについて英語で意見交換をします。TED Talks を通じて自分の専門や日常から一歩外に出てみよう。TED Talks の発表者のプレゼン力を分析し、自分の発信力の向上につなげよう。

Sports	水曜日 19:30-21:00	第一体育館
--------	-----------------	-------

バスケットボールやドッジボールなど、室内で楽しく運動をしながら、英語でコミュニケーションを取りたい方にお勧めです。室内履きをご持参のうえ、動きやすい服装でご参加ください。

Games and Movies	金曜日 16:30-18:00	東9-101
------------------	-----------------	--------

リラックスした空間でゲームをしたり、映画やドラマを見ます。気軽に英語を使う環境を求めている方にお勧めです。珍しいボードゲームや、カードゲームもたくさん揃っています。

7 語学留学

夏期・春期休暇中に行われる2~5週間程度の語学研修プログラムです。海外が初めての学生や、語学力に自信のない学生も参加しやすいプログラムです。



語学留学体験談

実施時期・期間	夏期・春期休暇中で2~5週間程度	対象者	全学年(夜間主含む)
募集人数	各プログラム5~15名程度	単位	授業科目「海外語学研修」で1~2単位取得
費用	30万円(アジア2週間~)から90万円(北米・ヨーロッパ5週間)程度(語学授業料、渡航費、宿泊費等を含む)。返還不要のJASSO奨学金等を受給できる可能性はありますが、毎年度条件は異なります。		
募集時期	毎年4月(夏休み実施分) / 毎年10月(春休み実施分)		
留学先(例)	英語研修…………… プリティッシュコロンビア大学(カナダ)、ウーロンゴン大学(オーストラリア)、ダブリンシティ大学(アイルランド)、FPT大学(ベトナム)等 中国語研修…………… 淡江大学(台湾)等		

2021年度はオンラインで実施しました。

8 交換留学

本学と学生交流覚書を締結する海外の大学(協定校)に1学期~1年間留学し、授業履修や研究を行うプログラムです。

実施時期・期間	秋semester(8-9月開始)・春semester(1-3月開始)の半年~1年間
留学先	オクラホマ大学(アメリカ)、ウーロンゴン大学(オーストラリア)、ロスキレ大学(デンマーク)、プレーキング工科大学(スウェーデン)、プレーメン大学(ドイツ)、ポズナン工科大学(ポーランド)、淡江大学(台湾)、北京郵電大学(中国)等の46大学・機関(2026年現在)
募集人数	各大学1~5名程度※
単位	留学先大学での取得単位は、電気通信大学で単位認定可能です。
費用	留学先大学の授業料は不要(電気通信大学の授業料は必要)。滞在費、渡航費、海外旅行保険等は自己負担。留学先によって総費用は大きく異なります。返還不要のJASSO奨学金を前提にした場合、プレーキング工科大学やポズナン工科大学は半年で20-40万円程度の自己負担で済む可能性がありますが、オクラホマ大学やウーロンゴン大学では半年で100万円から200万円の自己負担が想定されます。
募集時期	毎年4~7月(翌年春semester開始分) / 毎年10~12月(翌年秋semester開始分)
語学力	英語/原則としてCEFR B2(IELTS5.5, TOEFL iBT61, TOEIC785等。具体的には各大学による)※ その他の言語(中国語等)/各大学の基準による。※

※協定校によって異なる

留年しない交換留学 半年の交換留学に参加して、留年なしの4年間で卒業可能です!詳しくは「交換留学にかかる特例制度」を参照ください。



特例制度



交換留学体験談

9 国際インターンシップ

キャリア教育の一環として、海外の企業や大学・政府機関等の協力を得て実施する国際インターンシップを、主に夏期休暇に行います。

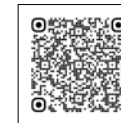
現地では、海外の企業や政府機関等のグローバル環境下で現地職員と行動。外国語による実務研修を通して「課題設定」「チームワークによる業務展開」「目標達成の手順」「PDCA」等の方法を体得し、将来社会でのグローバルリーダーを目指します。

募集対象	学域3年生以上及び大学院生	
派遣期間	主に、夏期休暇の1.5か月~	
募集人数	各派遣先で数名程度	
単位	学域生	90時間以上の実習(目安として2週間)で2単位
	大学院生	90時間以上の実習(目安として2週間)で2単位、 180時間以上の実習(目安として4週間)で4単位
主な派遣実績	アメリカ…………… ニューヨーク州立大学ビンガムトン校、 西海岸民間企業 オーストラリア………… シドニー大学 イタリア…………… ミラノピッコカ大学 ドイツ…………… シュタインバイス大学、民間企業 タイ…………… キングモンクット工科大学ラカバン校 など	



WEB

10 インターラボ 研究室交流



WEB

海外の大学・研究所への研究留学も行われています。特定のテーマを勉強できるため、自身の研究が進む可能性があります。また海外だからこそ新たなテーマを追究できることもあり、将来の幅が広がることが少なくありません。本学では、学生が所属する研究室の教員の研究交流による派遣先の決定が多いため、研究室交流とも呼んでおり、JASSO等の奨学金として申請している際の名称をインターラボとしています。

募集対象	基本的に自分の研究分野・研究室を決めてからとなるので大学院生が中心となりますが、準備は学域4年で研究室に配属になってから開始できます。
奨学金	●JASSOの奨学金(インターラボ:2017年度以降毎年採択) ●電気通信大学基金による海外渡航助成
過去の実績	フランス…………… オルレアン大学/LPC2E CNRS 英国…………… シェフィールド大学 自動制御システム工学専攻(ACSE) ベトナム…………… 国家大学ハノイ校工科大学 オーストラリア………… シドニー大学 カナダ…………… オタワ大学 米国…………… ニューヨーク州立大学ビンガムトン校 など

問い合わせ先: 国際課



LPC2E CNRS
フランス国立科学研究所
環境物理化学宇宙研究所

11 国際共同学位プログラム(大学院)

ダブル・ディグリープログラムとは、本学および協定校で行う国際共同学位プログラムを学修することで、それぞれの大学の学位を取得することができる制度です。二つの大学に入り直すよりは短い期間、少ない経済的負担で双方の学位を取得することができるメリットがあります。

ダブル・ディグリー協定校リスト	取得できる学位	国名
メキシコ国立工科大学	博士号	メキシコ
高等機械大学院大学	修士号	フランス
浙江工業大学	修士号	中国
ニューヨーク州立大学ビンガムトン校	修士号	アメリカ
モデルケース(高等機械大学院大学院)		
前期博士課程	1年目	電通大(単位取得+研究)
	2年目	高等機械大学院大学(単位取得)
	3年目	電通大(研究)

12 JICA海外協力隊大学連携派遣プログラム

本プログラムは、開発途上国の課題解決とともに国内の地域課題・人材育成を目的としています。最大の特長は、JICA海外協力隊派遣制度とのタイアップにより、派遣に必要な経費の自己負担がない点にあります。

2026年4月現在、
・JICA海外協力隊の支援制度
・国際教育センター
上記2件のプログラムが採択されており、本学学生が海外で活躍しています。



JICA海外協力隊の支援制度

国際教育センター

派遣先	海外協力隊 連携派遣 (メキシコ) 2025.8-2028.7	海外協力隊 科学技術協力隊 (タイ) 2026.4-2031.3
連携先	メキシコ国立工科大学 (IPN)	チュラロンコン大学 (CU)
特徴	IPNの教授・学生と協働し、電通大発の筋電義手(ロボットハンド:国内では福祉機器として認証済み)のメキシコでの実用化を目指します。	環境負荷の少ない電極・センサー・電池材料の開発にかかる共同研究を行います。通常の海外協力隊の待遇に加え、50万から100万円の研究活動費が支給されるJICAの新プログラムです。
ポイント	IPNと本学は30年近くの協定校であり、本学卒業生の教授も在籍しています。また、本派遣から派生し、JST「さくらサイエンスプログラム」を通じてIPNの学生を本学で受け入れるなど、両校の活発な国際交流が行われています。	タイ最高峰の大学との連携であり、ハイレベルな研究活動を行うことができます。また、本学はタイ現地に拠点を構えているため、安心して研究活動を行うことができます。



13 奨学金・渡航助成

留学したい学生への資金面のサポートもあります。気軽にご相談ください。

電気通信大学基金 「学生等海外派遣助成事業による助成」	卒業生、企業からの寄附に基づく電気通信大学基金(UEC基金)からの助成です。国際交流協定校等への派遣や国際インターンシップで利用されています。	
(独)日本学生支援機構JASSO 「海外留学のための奨学金」	海外の大学院で修士や博士の学位取得を目指す「学位取得型留学」や、派遣交換留学を含む各種留学、国際インターンシップなど学生自ら計画して留学する「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」などがあり、学位取得型の留学には給付型、貸与型(無利子・有利子)があります。	
地方自治体、外国政府、民間団体等奨学金	地方自治体や国際交流協会の奨学金は、その自治体の居住者や家族などを対象に留学費用を支援します。民間企業・団体の奨学金は、内容が非常に多岐にわたり、それぞれ応募者に条件を設けています。ほとんどが給付型ですが、一部、貸与型もあります。	

14 各プログラムの連絡先一覧

プログラム名	担当機関 担当者・部	メールアドレス
留学プログラム		
全学生向け		
語学留学	国際教育センター・国際課国際企画係	abroad@fedu.uec.ac.jp
交換留学		exchange@office.uec.ac.jp
国際インターンシップ	共通教育部 キャリア教育部会 インターンシップ推進室	intern-group@gl.cc.uec.ac.jp
研究室交流(インターラボ)	国際課国際企画係	exchange@office.uec.ac.jp
Double Degree: IPN メキシコ		
専攻独自のもの(大学院)		
サマトレ KMUTT (J専攻)	情報学専攻 高橋 裕樹 教授	rocky@inf.uec.ac.jp
Double Degree: SUPMECA (M専攻)	機械知能システム学専攻 明 愛国 教授	ming@mce.uec.ac.jp
Double Degree: 浙江工業大学 (S専攻)	基盤理工学専攻 古川 祐介 准教授 国際課国際企画係	exchange@office.uec.ac.jp
その他のプログラム		
GLTP	教務課学域教務係	gltp@office.uec.ac.jp
開発主導型博士学生研究:教育支援プログラム	博士育成システム推進室	jisedai@office.uec.ac.jp
シカゴ大学CSサマープログラム	国際課国際企画係	exchange@office.uec.ac.jp
キャンパスで触れる国際環境		
UECSAP(授業外英語支援)	実践的コミュニケーション教育推進室	uecsap-group@gl.cc.uec.ac.jp
ランゲージパートナー制度	国際課留学生交流係	iso@office.uec.ac.jp
チューター制度	国際課留学生交流係	ryugakusei-k@office.uec.ac.jp
国際学生宿舎で留学生サポート		
留学生国際交流会(ICES)	国際交流会 ICES	-
奨学金		
海外留学奨学金(CIPE)	国際課国際企画係・留学生交流係	exchange@office.uec.ac.jp
学内助成(UEC基金助成等)		
トビタテ!留学JAPAN		
JASSO(協定派遣・協定受入)		
海外留学のための奨学金(JASSO)		



共通教育部
キャリア教育部会
インターンシップ
推進室



博士育成システム
推進室



実践的
コミュニケーション
教育推進室



国際交流会 ICES

総合窓口

留学・国際教育WG

E-mail global_edu@uec.ac.jp

このガイドブックで紹介された各プログラムや、その他の留学・国際教育プログラム等の詳しい情報はポータルサイトで参照してください。また、相談したいことがあれば、気軽に総合窓口や各プログラム担当者にご連絡ください。なお、学内Google Classroomにて、プログラム担当者より随時情報を発信しています。UECクラウドアカウントでログイン後、右記QRコード、またはクラスコード「wxue3lj」より学内専用Google Classroomへご参加ください。学生の皆さんの目標に向けた一歩を後押しする機会となれば幸いです。



ポータルサイト



Google Classroom

留学なんでも Q&A



ポータル



留学情報

Q

何から始めれば
いいですか？

A

まずは留学・国際協力ポータルや国際教育センターWEB「電通大生向け留学情報」をチェック。興味のある留学や奨学金制度などを調べてみましょう。さらに、説明会などに参加するのもお勧め。詳しく聞いてみたければ「海外学生交流コーディネーター」に相談してみましょう。

Q

英語(外国語)が
心配です…

A

語学留学は、外国語が苦手な方にもお勧め！自信がある方は、交換留学や研究留学、国際インターンシップに挑戦してみましょう！必要な語学力は、研究留学や国際インターンシップがTOEIC®600点程度、交換留学がCEFR B2 (TOEIC®785、IELTS5.5、TOEFL iBT61)程度です。

Q

どんな留学が
あるのですか？

A

語学力向上を目的にした語学留学(2~5週間)、海外協定校等のサマープログラム(1週間~2か月)、国際インターンシップ(3~6週間)等の短期留学から、海外協定校への交換留学(半年~1年間)、研究留学(3か月~1年)等の長期留学まで幅広く実施しています！

Q

長期留学しても
留年しませんか？

A

本学では、長期留学でも留年なしの4年間で卒業可能です！交換留学であれば「3年後期の特例制度」、研究留学であれば「GLTP制度」を活用して、半年程度の長期留学に参加しつつ4年間で卒業できます！

Q

留学費用が
心配です…

A

短期留学も長期留学も多くの奨学金制度が利用可能です。留学先によって、短期は奨学金利用で自己負担を20~60万円程度に、長期は高額な奨学金を獲得できれば自己負担ゼロの可能性もあるほか、一般的なJASSO協定派遣奨学金の利用でも半年あたり20~40万円程度に抑えられます。大切なことは奨学金獲得のために成績(GPA)を高く保つこと。学業にも全力で励みましょう！

Q

大学内の国際環境が
知りたいです

A

英語科目は日本語を使わない英語オンリーで、国際科目等では英語で講義される科目もあります。授業外でも「UECSAP」や「ランゲージ・パートナー制度」、国際交流学生サークルである「ICES」等、外国人留学生と触れ合う機会は豊富。勇気をもって飛び込んでみてください！

Q

1対1でじっくり
相談したいです

A

「海外学生交流コーディネーター」がいつでもお待ちしております！相談予約はWEBから可能ですので、右記のQRコードからご予約ください！

